

岩手労福協

発 行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
T E L (019) 654-3082

発行責任者 佐々木秀市
編集責任者 菅野 健司

No.163 2021年8月19日発行

会長交代 鈴木氏から佐々木氏へ

岩手労福協は6月29日(火)、第80回臨時総会および第116回臨時理事会を開催し、連合岩手会長に6月11日就任した佐々木秀市氏を岩手労福協会長に選出しました。前会長の鈴木圭氏は常務理事に就任、新体制を確認しました。任期は2022年5月の定時総会まで。ライフサポートセンターいわてについても、鈴木氏から佐々木氏へ理事長が交代し、新体制を構築しました。



就任あいさつ

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会

会長 佐々木 秀 市

この度、岩手労福協会長として信任をいただきました、佐々木秀市と申します。すべての労働者が健康的に安心して働くことのできる環境の整備と、家族も含めたすべての人が安心してくらすことのできる環境をめざし、労働者福祉の向上に資する運動に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、長らく岩手高教組の執行委員として高等学校教育および障がい児教育にかかる政策・制度の要求や、組合員の生活と権利を守り、恒久平和の実現に向けた取り組みに関わって参りました。様々な取り組みにおいては、岩手労福協との関係性も強く、特に、2017年の「日本学生支援機構法」改正に向けた中央・岩手労福協の取り組みにおいては、給付型奨学金の創設を求めて、高教組としても高等学校PTA連合会へ働きかけるなどして、署名の集約に全力を傾注したことを記憶しています。この時の法改正によって、奨学金を利用している学生の経済的な不安が大きく改善され、取り組みの成果を実感することができました。

2020年、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、今なお社会不安が拡大しています。ここでも、中央労福協は奨学金返済や教育費の負担を軽減するための税制支援を求めて、オンライン署名を立ち上げました。教育費の負担を軽減することは、若者や子育て世代の生活を支援することにつながります。この場をお借りして、オンライン署名への皆様のご協力をお願いいたします。

コロナ禍から抜け出す道筋は未だ見通せませんが、岩手労福協は、すべての働く仲間と支え合い、助け合いながら労働者福祉の向上に向けて取り組んで参ります。そのために、私も全力を尽くすことをお誓いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

第79回定時総会開催

岩手労福協は、5月25日（火）、第79回定時総会をホテルニューカリーナにおいて開催しました。

総会は、斎藤健市副会長の開会挨拶で幕を開け、議長に連合岩手の佐々木友美子氏が選出されました。鈴木圭会長は2020年度を振り返り、「コロナ禍で実施事業を制限せざる得ず、参加者や関係者の健康と安全を最優先に取り組みを進めてきたが、この状況は当面続くものと想定しなければならない。2021年度もコロナ感染防止に努めながら労働者のための福祉運動を推進していく所存です。また、新たな取り組みとして、2023年度以降の事業と財政のあり方を検討するため、専門委員会を立ち上げ具体的な協議を開始します。引き続き、岩手労福協へのご支援とご協力をお願いしたい。」と理事会を代表して挨拶を述べました。

議事では、第1号議案「2020年度事業報告」、第2号議案「2020年度会計報告並びに監査報告」、第3号議案「理事及び監事の報酬等」、第4号議案「2021年度団体会費」、第5号議案「辞任に伴う監事選任」が提案され、全ての議案が原案どおり賛成多数で可決承認されました。



フードバンク岩手支援



支援金を鈴木会長（中央）から佐々木事務局次長（左）に手交

フードバンク岩手への支援は2017年度から取り組みを開始、今年で5年目に入りました。今年度も夏季と年末の年2回行います。

6月24日（木）、鈴木圭会長（当時）と菅野健司専務理事がフードバンク岩手を訪問し、鈴木会長から佐藤幸枝事務局次長に支援金50,000円を贈呈しました。今回の支援金には、6月2日に行った第7回連合岩手・岩手労福協共催チャリティーゴルフコンペの収益金が含まれています。フードバンク岩手によれば、夏休み期間は食糧難の家庭からの支援要請が通常月の倍以上に増えるそうです。また、今年はコロナ禍で要請件数が増加しており食料提供量は前年の1.7倍に増えたそうです。皆さんの周りに買い過ぎた食料品や眠っている食料品がありましたら、フードバンク岩手に寄付をお願いします。食料支援の実施場所については、ホームページでご確認ください。

こくみん共済 coop 提供

「労働者自主福祉運動の継承と発展」を目指した推進動画を是非ご覧下さい。

①
労働組合を取り巻く現状と課題



②
よくわかる労働者自主福祉運動歴史編



③
よくわかる労働者自主福祉運動課題編



レッドカーペット・プロジェクト 椿の植樹

中央労福協は「2021年度全国研究集会」で陸前高田市のレッドカーペット・プロジェクト（以下、RCP）を取り上げ、全国にその取り組みを紹介しました。地元事業主が中心となり昨年6月に陸前高田市に一般社団法人RCPを創設、市花である椿で未活用土地を真っ赤に染めることで新しい景観を創り（観光資源）、その椿を原料とする商品製造を通じて雇用を創出、身体障がい者が就労できる場の確保をめざしています。また、RCPでは、コロナ禍において休職や休業などで収入が減少した方に声をかけ、家計応援の一助に資するため就労の場を提供しています。



植樹を終えて（右から菅野専務、鈴木会長、南部事務局長、高橋RCP代表、伊藤まるごと陸前高田代表理事）

中央労福協は研究集会前の5月21日（金）に取材のため本県を訪れ、南部事務局長と遠藤事務局次長が椿の苗木を植樹しました。岩手労福協から鈴木圭会長（当時）と菅野健司専務理事が同行しました。岩手労福協はこれを機に、「ろうふくエール基金」を活用しながらRCP支援を行っていきます。

学生への食料支援

主に生協関連団体の有志が集い“学生食料支援プロジェクト実行委員会”が3月12日に発足しました。同会は、新型コロナにより学業や生活に困っている学生支援が目的です。活動内容は、希望する学生に食料や日用品を無料配布すること。5月中旬、同会構成団体の岩手県消費者団体連絡協議会（以下、消団連）から岩手労福協に運営資金の協力要請がありました。コロナ禍で苦しむ学生支援は、全国で様々な取り組みが展開されています。岩手労福協は、この取り組み趣旨を踏まえ、カンパ金30,000円（一口1,000円、30口）を贈りました。同会は4月18日岩手大学（100人）、5月27日盛岡大学（80人）、6月16日県立大学（124人）で食料や日用品の無料配布を実施。利用した学生から多くの感謝の言葉があったそうです。

岩手労福協〔2020年度～2021年度役員〕

会長	佐々木 秀市	（連合岩手）
副会長	八幡 博文	（東北労金岩手県本部）
副会長	齊藤 健市	（こくみん共済coop岩手）
副会長	伊藤 裕一	（平和環境岩手県センター）
副会長	吉田 信	（岩手友愛会）
専務理事	菅野 健司	（岩手労福協）
常務理事	鈴木 圭	（連合岩手）
理事	佐藤 淳一	（ハピネス共済会）
理事	佐藤 浩之	（信用生協）
理事	川村 元	（岩手県学校生協）
理事	谷藤 学	（連合岩手）
理事	金田一 文紀	（連合岩手）
理事	佐藤 茂生	（連合岩手）
監事	長谷川 博之	（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂 徹	（こくみん共済coop岩手）

主な行事予定

2021年度退職準備サポート研修会

〔盛岡会場〕

- 日時 2021年9月4日(土)10:00～14:30
- 場所 エスパワールいわて「大ホール」
- 募集 先着50名（参加無料）

〔北上会場〕

- 日時 2021年9月11日(土)10:00～14:30
- 場所 北上オフィスプラザ「セミナールーム」
- 募集 先着50名（参加無料）

第33回岩手県勤労者野球大会

- 日時 2021年10月24日(日)
- 場所 電石町営「鶯宿グラウンド」
- 出場 地区代表含む8チーム

第40回岩手県勤労者美術展

- 日時 2021年11月11日(木)～14日(日)
- 場所 盛岡市民文化ホール（マリオス）「展示ホール」
- 部門 絵画、書道、写真（出品無料）
- 募集 10月8日締切

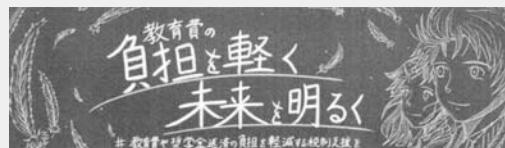
奨学金オンライン署名活動にご協力を

2020年4月に施行された大学等修学支援制度は、その対象者がこれから大学等で学ぶ低所得世帯の学生に限定されています。年収の壁によりこれらの制度の支援を受けられない人や、すでに奨学金を返済している人から多くの「不満」や「不公平感」の声が寄せられています。そうした当事者の想いを受け止め、将来的には高等教育の漸進的無償化や無理のない奨学金返済制度への改善につなげていくためにも、まずは現状を打開する一歩として、少しでも不公平感をなくし、みんなが負担軽減を実感できる政策支援が喫緊の課題となっています。

中央労福協は、第3期「奨学金制度改善・教育費負担軽減」運動の一環として、税制支援を求めるオンライン署名活動を4月から展開しており、岩手労福協は6月末から正会員へ署名協力の呼びかけを行っています。次のURLまたはQRコードから署名ページに入れますので、オンライン署名への協力をお願いします。取組み期間は11月30日までです。

「奨学金返済や教育費の負担を軽減するため、税制支援を求めます！」

署名ページ <http://chng.it/GQ2cnRd88Z> (署名はこちらから→)



“奨学金返済と教育費の負担軽減を求めるプロジェクト”[呼びかけ人: 大内裕和 (奨学金問題対策全国会議共同代表、中京大学教授)、岩重佳治 (奨学金問題対策全国会議事務局長、弁護士)、神津里季生会長 (中央労福協会長/連合会長)]では、奨学金返済・教育費負担の軽減のための税制支援を求めるオンライン署名活動を行っています。将来的な高等教育の無償化や無理のない奨学金返済制度への改善につなげていくためにも、まずは現状を打開する一歩として、私たちのアクションにご協力ください。

